

# 宮古島近海の繰り返し地震

今年(2014年)9月18日、宮古島の北東約15km付近の深さ約50kmでM5.2の地震が発生し、宮古島で最大震度4を観測しました。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートとの境界で発生したものと考えられ、震源付近では1997年以降、M5.0以上の地震が今回を含め5回発生しています(図1)。

(M=マグニチュード)

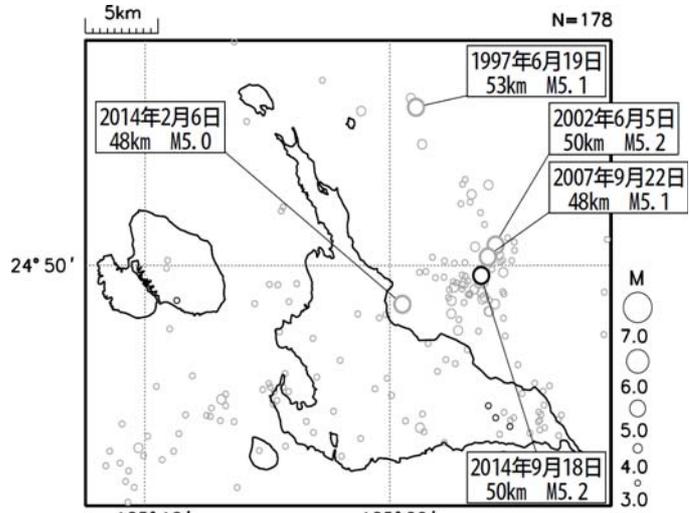


図1 1997年以降の震央分布 M $\geq$ 3

今回の地震は、宮古島近海で発生している繰り返し地震のひとつで、M5.1クラスの地震が5~7年の間隔で発生しています。

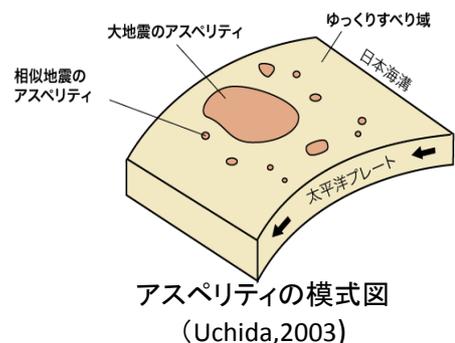
地震対策は、家具の耐震固定など日頃の備えが大切です。また、地震が発生しても落ち着いて行動できるよう、心構えをしておきましょう。

## 地震で揺れたときの心構え

- ・あわてずに、まず身の安全を確保する
- ・火の始末は揺れがおさまってから
- ・海岸で強い揺れを感じたらすぐに高台へ避難(津波からの避難)

フィリピン海プレートや太平洋プレートはゆっくりと大陸のプレートの下に沈み込んでいます(右図)。摩擦が大きく固着の強いところ(アスペリティ)では「プレート面が一定期間固着してエネルギーを溜め込んだ後に急激な滑りを起こして地震としてエネルギーを開放する」ことを繰り返しています。

大きなアスペリティほど固着している時間が長く、滑りを起こすときに規模の大きな地震が発生します。



宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ  
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)